

2024 年度

社会福祉法人日本点字図書館

事業報告

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

《重点項目》

はじめに

2024 年はどんな 1 年であったか？ 日本インフォメーション株式会社が生活者の実態や価値観などを調査した結果によれば、全体を通してマイナスの項目が多く、やや下向きな 1 年だった様子が窺えたと言う。年代的に見ると、10 代～20 代ではプラスに傾く項目も見受けられたものの、40 代～60 代でマイナスの数値が高くなっているらしい。

この年の社会全般のニュースで関心をもったものを尋ねた問いでは「物価上昇に関するニュース」が最も多く、全体の 49.4%がこれを挙げている。物価上昇は日々の生活に直結するので関心が高いことは理解しやすい。次に関心が高かった項目は「自然災害に関するニュース」で 39.4%。大規模地震や豪雨、記録的猛暑など近年と比べて自然災害が多い 1 年となり、人々の心に強く残ったと考えられる。さらには、2024 年を振り返って「日本の将来は明るいと思うか」を尋ねた問いでは、「そう思わない」が 59.0%あり、悲観的な様子が見られたとある。続いて「世界の将来について明るいと思うか」は「そう思わない」が 56.1%と、日本と同様に悲観的な様子が見られた。

多くの方々の支援によって事業が成り立っている当法人にとっては、こうした人々の実態や価値観などはこれからどんな思考や行動をもたらすのか非常に気がかりであり、社会の動きに敏感でなければならないと注視しているところである。

2024 年度の法人を振り返ってみると、事業計画に挙げた事項は概ね達成できると同時に決算も昨年比で赤字を免れることができ安堵している。とはいえ、特に決算については根本的な改善を行っての結果ではないために、一時の糠喜びにならぬようにせねばならない。社会情勢等を踏まえると、不安材料が認められるだけにしっかりとした策を講じる必要があり、その検討を 2025 年度の重点課題にも組み込んでいる。

読書バリアフリーを巡っては 2023 年 7 月、第 169 回芥川賞を重度障害のある作家・市川沙央氏が受賞し、記者会見で読書バリアフリーを訴えたことに端を発し、潮目が変わっ

た。以降、新聞各紙で社説やコラムを含め読書バリアフリーに関する記事を多く目にするようになった。2024年に入ると4月、読書バリアフリー施策について、日本文芸家協会、日本推理作家協会、日本ペンクラブは「出版界、図書館界とも歩調をあわせ推進に協力を惜しまない」と訴える共同声明を出した。これに呼応するかのようには、6月には、日本書籍出版協会、日本雑誌協会、デジタル出版者連盟、日本出版者協議会、版元ドットコムとの出版関連5団体が共同声明を公表。著作者の考えに寄り添い、その権利が損なわれないように十分に配慮しつつ、あらゆる読者の利便性を高め、長く未来に向けてバリアフリーな環境のもと出版文化をさらに発展させていくための努力を続けていくとの姿勢を示した。

図書館に関連する雑誌のいくつかは読書バリアフリーについての特集を組むなどして、その一環で点字図書館の立場での原稿執筆を当館へ依頼。図書館関連団体は読書バリアフリーをテーマとしてセミナーやシンポジウムを開催し、パネラーとしての登壇の依頼も舞い込んだ。読書バリアフリーに関連する図書を企画する出版社の取材協力にも複数回対応した。これらは、当館の存在と事業をPRする機会にもなったと言える。さらには読書バリアフリー法に基づく基本計画の第2期作成の時期とも重なり、行政の依頼にも応え協力した。このように読書バリアフリーへの関心が高まりつつあり、これについての様々な動きがある状況を好機と捉え、当館事業の社会的重要性と貢献を一層広報していきたい。

一方、内部的には法人そのものが各事業を持続できる基盤を整備し、強化することも重要な課題となっており、その解決に向けた行動も進めねばならないと認識している。

以下に、事業計画に設定した五つの重点項目について実施した事項を報告する。

1. 図書等提供サービスの質の向上に向けた館発行資料の内容の見直し

利用登録者の増については、一昨年から重点課題に挙げて取り組んでいるが、目覚ましい数字としての実績は得られておらず、新規登録者数は毎年350人～400人でほぼ横ばい状態が続いている。これについては、これまでの新規獲得方法を見直し、必要に応じて改善をすべく、2025年度の利用サービス部の方針・目標に盛り込んでいる。一方、利用者が図書等の貸出をはじめ、各種サービスについて満足度を上げられるようサービスの向上を図ることも欠かせない。そこで2024年度は利用者へ発信・発行している印刷物等を利用者の視点で見直し、読みやすくわかりやすいものにするべく改善作業を行なった。

具体的には新入図書の案内や貸出を促す話題、出版図書情報や用具新商品・お勧め商品案内等をお知らせする隔月刊の『ってんブレイル』と『ってんボイス』の紙面を見直し、一部の内容と構成を刷新し、『ってんボイス』は2025年4月号から、『ってんブレイル』は同5月号からリニューアルしての紙面での発行を始めた。また見直しを通じて

製作コストや郵送費の削減を図る見通しが立った。

2. 蔵書点訳における新たな製作体制の整備と始動

蔵書製作における協力者である点訳・朗読ボランティアの減少は全国的に見られ、その確保は重要な課題となっている。点字を守り、伝え、一定量の良質な点訳書を提供することは当館の大きな使命である。2024年度も点字製作体制の見直しと改善を図るため、ワーキンググループでの検討を継続した。図書製作部長・点字製作課長・同課4グループリーダーからなる点字製作体制検討ワーキンググループは、4月以降、基本、月1回の頻度で会合をもち、点字製作にかかる人的・技術的・設備的課題、ならびに収支等の確認を行ない、共通認識を図った。

蔵書点訳の人材確保については、地域で活動する点訳グループに協力いただくこととし、7月、承諾のあった6団体の会員に参集願い、説明会を実施した。そのうえで、具体的に点訳の依頼を始め、下半期において、8タイトルの点訳書が納められた。点訳グループへの協力依頼は2025年度も継続する。

3. サピエ・CLIS システム管理班の始動によるシステムの円滑な管理と運営

「サピエ図書館」は、今日、全国の点字図書館等がサービスを提供するうえで不可欠なシステムである。それ故、システムの保守と管理を担う当館の責務は大きいものがある。また当館が図書の製作から貸出までの一連の過程で用いている図書館総合システムのCLISは、業務遂行の上で欠くことのできないシステムとなっている。これらシステムの安定的な維持に努め、与えられた責務を果たし、もって視覚障害者の読書環境の向上に資するため、図書製作部長・総務部課長・図書情報課長・図書情報課員・指定管理部職員からなるサピエ・CLIS システム管理班を館長所轄の下に設置し始動させた。

7月には、全視情協主催のサピエ研修会において11月公開の「完成通知機能」「逐次刊行物新着案内機能」についてプレゼンテーションを行なった。また本年2月には、デイジーオンラインサーバ、会員管理サーバのリプレースを滞りなく終えた。

なお、今回のリプレース作業ではサピエ会員施設の要望に応えるべく、システムの休止期間を当初の予定から大幅に短縮させることができた。

サピエの運営を担う全視情協との連携を円滑にするため、情報共有や課題の検討を行うことを目的に7月以降、定期的な会合を行なった。

一方、CLISについてはLinux化リニューアルの検討を始めており、次年度も継続する。

4. 首都圏直下型地震等を見据えた防災対策ならびに災害時の避難所としての体制整備

災害に備えては、一つに防災計画を明確化し、これを的確に実行するために周知と訓練が必要である。同時に、被災後も可能な限り速やかに事業が継続できるようにすることも求められる。そこで「日本点字図書館首都直下型地震防災計画・事業継続計画（BCP）」の作成に着手した。生活支援部長、総務部長付き課長によって作成された原案は事業等検討委員会での審議を重ね、2025年夏ころにはVer1.0（A4版、約22ページ）として完成の予定である。

5. 電子帳簿保存法に基づく会計関連業務効率化の推進

電子帳簿保存法は、税務関係帳簿書類のデータ保存を可能とする法律であり、同法に基づく制度を活用することで、経理業務のデジタル化と効率化が期待できる。当館では2024年度に、同法に関する一定の法令対応を実施したものの、経理業務全体の効率化は依然として途上にある。次年度においては、懸案となっている会計業務の一元化とあわせて、経理業務のさらなる効率化に向けた取り組みを継続していく。

以上、重点5項目を記したが、上記を踏まえた各部、各課の事業計画を以下に詳述する。

I ≪社会福祉事業 1≫

視聴覚障害者情報提供施設の設置経営及び全国の視聴覚障害者情報提供施設に関する連絡事業

[利用サービス]

図書情報提供サービス

サービスの実績

	2024 年度	2023 年度
① 利用登録者数	12,914 名	12,876 名
(新規登録者数 目標 400 人以上獲得)	313 名	339 名
(点字使用者数)	6,240 名	6,311 名
② 利用登録団体数	595 団体	592 団体
(新規利用登録団体数)	3 団体	4 団体

【個人利用登録者の除籍について】

313名の新規登録があった一方で、192名の除籍を行った。内訳として、ご逝去や、認知症・寝たきりなど高齢で読書が困難となったという理由が判明しているだけで90%以上を占めている。

③ 点字図書の総数・蔵書数および貸出・提供数

「総数」とは、当館製作分で点字データのみで管理しているタイトルを含めた数である。なお、「蔵書数」については従来通り、冊子体として書庫に配架されている数である。

総数	(タイトル)	23,781 タイトル	23,506 タイトル
	(冊数)	86,762 冊	85,904 冊
蔵書数	(タイトル)	23,200 タイトル	22,929 タイトル
	(冊数)	86,181 冊	85,327 冊
蔵書数の変化	(新収書)	628 タイトル	652 タイトル
		1,718 冊	1,750 冊
	(除籍書)	864 冊	796 冊
貸出・提供数 (目標 5,500 タイトル)		5,523 タイトル	5,239 タイトル
内訳			
(ア) USB・SD カード等		545 タイトル	612 タイトル
(イ) 冊子体		4,978 タイトル	4,627 タイトル
		17,089 冊	16,109 冊

(内 他館借受)	553 タイトル	482 タイトル
	1,593 冊	1,458 冊

④ 録音図書の総数・蔵書数および貸出・提供数

「総数」とは、当館製作分でデータのみで管理しているタイトルを含めた数である。なお、「蔵書数」については従来通り、媒体(CD)として書庫に配架されている数である。

総数	(タイトル)	27,526 タイトル	26,567 タイトル
	(巻数)	53,494 巻	51,978 巻
蔵書数	(タイトル)	21,366 タイトル	20,678 タイトル
	(巻数)	47,334 巻	46,089 巻
蔵書数の変化	(新収書)	734 タイトル	757 タイトル
		4,829 巻	5,308 巻
	(除籍書)	3,583 巻	4,132 巻
貸出・提供数(目標 165,000 タイトル)		229,470 タイトル	232,504 タイトル
内訳			
(ア) SD・CF カード等		96,645 タイトル	92,896 タイトル
(イ) CD 図書		66,717 タイトル	70,716 タイトル
		67,507 枚	71,519 枚
	(内 他館借受)	9,217 タイトル	9,513 タイトル
(ウ) CD 雑誌 (にってんデイジーマガジン含む)		65,963 タイトル	68,857 タイトル
		66,004 枚	68,966 枚
(エ) カセットテープ		144 タイトル	35 タイトル
		776 巻	236 巻
(オ) カセットテープ雑誌		1 巻	0 巻

⑤ にってんデイジーマガジン (目標 65,000 枚配布)

(ア) 個人配布 (CD)	4,991 名	5,245 名
(イ) 団体配布 (CD)	245 団体	247 団体
(ウ) 外国在住者配布 (CD)	9 名	9 名
(エ) 年間配布数 (CD)	62,082 枚	64,772 枚
(オ) サピエ図書館年間延べ利用	20,731 名	22,223 名

⑥ インターネット配信・サピエ図書館による資料の提供 (当館分)

(ア) データのアップロード			
書誌データ	新規	878 件	850 件
	更新	4,137 件	3,069 件

削除	88 件	77 件
点字データ	153 タイトル	132 タイトル
音声デイジー	441 タイトル	429 タイトル
テキストデイジー	203 タイトル	204 タイトル
マルチメディアデイジー	9 タイトル	11 タイトル

(イ) データのダウンロード (点字)

プリントアウト	16 件	33 件
	29 タイトル	56 タイトル
	9,615 ページ	19,098 ページ

(ウ) 利用者によるダウンロード (当館製作コンテンツ)

パソコン

点字データ	12,918 回	12,056 回
音声デイジー	140,075 回	144,938 回
テキストデイジー	16,429 回	18,362 回
マルチメディアデイジー	382 回	435 回

デイジーオンライン

音声デイジー	317,972 回	351,901 回
テキストデイジー	16,174 回	20,154 回
マルチメディアデイジー	716 回	662 回

⑦ レファレンスサービス、書誌データの整備ならびに日本目録規則に関する情報収集

オンライン蔵書目録利用者が、当館の蔵書の中から様々な角度からのアプローチで目的の資料を探し出せるよう、日本十進分類法(NDC10 版)に対応した当館の目録規則に従い、書誌データの整備を行った。また、新たな日本目録規則(NCR2018 年版)について、国立国会図書館や公益社団法人日本図書館協会・株式会社図書館流通センター・システム開発保守業者等から情報収集を行ったが、まだ方針・対応が公開されていない団体もあるため大きな変動がなく、使用しているシステムに即影響を受けることがなかったため、課内担当者間での情報共有に止めた。

情報提供件数	50,474 件	52,534 件
情報提供先合計	5,109 件	5,249 件
(内 学生)	2 名	5 名
(内 社会人)	5,087 名	5,226 名
(内 団体)	20 団体	18 団体

⑧ 点字・録音図書の収集

点字購入図書	5 タイトル	12 タイトル
点字購入雑誌	12 誌	12 誌
録音購入図書	2 タイトル	1 タイトル

⑨ 利用サービス部図書情報課による図書の即時製作選定

利用者の声を直接聞く図書情報課の選書委員に、一部製作選定権を与え、利用者ニーズの高い日本文学（小説）を中心に、点字図書 12 タイトル、デージー図書 12 タイトルの製作選定を行った結果、早期に当館が製作着手することができた。以下に製作選定した主なタイトルを紹介する。

- ・ 東野圭吾著「ブラック・ショーマンと覚醒する女たち」
点字図書・デージー図書で製作
- ・ 大沢在昌著「夜刑事」 点字図書で製作
- ・ 西條奈加著「バタン島漂流記」 デージー図書で製作

⑩ テレビ・デージーの利用促進と提供

NHK（日本放送協会）の許可を得て、音声解説付きで放送されている NHK のテレビ番組から職員が選定し、録音した音源をデージー編集した当館オリジナルのサービスであるテレビ・デージーについて、*「にっぺんデージーマガジン*や当館のホームページにある蔵書検索・予約システムの WebOPAC、サピエ図書館の「施設からのお知らせ」等、積極かつ、迅速に製作選定と広報活動を行ない、視覚障害者等に対して CD 等で提供を行った。

- ・ テレビ・デージー 総タイトル数 394 タイトル
- ・ 2024 年度新規受入タイトル数 48 タイトル

【2024 年度利用状況】

年間の貸出ベストリーダーの上位 100 位中、10 タイトルのテレビ・デージーがランクインしている。利用の高かった主なタイトルを以下に紹介する。

- ・ 「日本の話芸」シリーズ
- ・ 「連続テレビ小説 さくら」
- ・ 「連続テレビ小説 ブギウギ」
- ・ 「土曜ドラマ 遙かなる山の呼び声」
- ・ 「ドラマ 10 育休刑事」
- ・ 「ザ・プロファイラー―夢と野望の人生― [シーズン 1 2]」

⑪ 利用者用目録の製作と提供

- ・ 点字図書新刊案内「*にっぺんブレイル*」
(年 6 回、点字版 1,200 部) を編集・発行
- ・ 録音図書新刊案内「*にっぺんボイス*」
(年 6 回、点字版 1,140 部・墨字版 1,500 部・録音版 30,946 部
計 33,586 部) を編集・発行

なお、録音版については、「にってんデイジーマガジン」及び「サピエ図書館」で提供した。

・年間追加目録

点字図書年間追加目録 点字版を編集・発行

録音図書年間追加目録 点字版を編集・発行

CD 図書年間追加目録 デイジー版を編集・発行

・蔵書目録の頒布 67 部

点字図書 点字版 9 冊頒布

録音図書 点字版 20 冊、墨字版 7 冊、CD 版 31 枚頒布

⑫ プライベートサービス

専門書を対象に事前予約制で対面リーディングサービスを実施した。

(目標：延べ 200 人)

延べ	236 名	234 名
利用時間	500 時間	448 時間
活動ボランティア	45 名	47 名

⑬ IT 教室/IT 体験クラスの開催

水曜日・金曜日開講の初心者向けの教室を 1 回 90 分（全 3 回）で再開した。

・初心者向けクラス（パソコン受講）

開催回数 3 回

延べ受講者数 1 名

受講者数 1 名

・初心者向けクラス（iOS 受講 ※2016 年度より開講）

開催回数 23 回

延べ受講者数 8 名

受講者数 8 名

・初心者向けクラス（パソコン+ iOS 受講 両方受講）

開催回数 0 回

延べ受講者数 0 名

受講者数 0 名

土曜日開講の体験クラスを 1 回 90 分に戻して開講した。

・初めてパソコンにふれる人を対象とした、予約制による 1 回 90 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回まで）の操作体験クラス

開催回数 5 回 3 回

受講者数 5 名 3 名

- ・初めて iOS にふれる人を対象とした、予約制による 1 回 90 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回まで）の操作体験クラス（※2016 年度より開催）

開催回数	18 回	13 回
受講者数	18 名	13 名

- ・初めて iOS とパソコン両方にふれる人を対象とした、予約制による 1 回 90 分、原則 1 回（希望者には上限 2 回まで）の操作体験クラス

開催回数	4 回	0 回
受講者数	2 名	0 名

⑭ 点字教室修了者の自主活動（点字学習サークル）の支援

※代表者より活動者減少のためサークル解散の連絡があり、2024 年度を持って支援終了。

⑮ サピエ図書館の利用促進

サピエ図書館の利用促進のため、来館者や電話、新規利用登録の際、利用者の読書環境を考慮しながら、サービス概要説明を積極的に行った。

- ・当館を登録館としたサピエ個人登録者数 3,502 名 3,347 名

⑯ 各システムの維持管理と機器の更新と改修

- ・サピエ図書館、および当館の基幹システムである CLIS 図書館総合システムの安定的稼働に努めた。また、サピエ図書館においては、「完成通知」「逐次刊行物新着案内」といった新機能の追加などについて、各開発保守業者、全国視覚障害者情報提供施設協会関係者、各専用端末・ソフトウェアの開発販売業者と協力して行った。

- ・国内 69 団体の点字図書館等が導入している、サピエ図書館と一体化された出納業務管理システムである Web 図書館システムについて、電話やメール、サピエ研修会などで運用支援を行った。

⑰ 視覚障害以外の障害者への読書支援

- ・全利用登録者数 59 名 57 名
- ・新規利用登録者数 4 名 4 名
- ・当館を登録館としたサピエ個人登録者数 48 名 46 名

[図書製作]

1. 点字図書・触図等の製作

- (1) 点字図書の製作、ボランティアの養成・指導

	2024 年度	2023 年度
① 発表点字図書数	170 タイトル 746 冊	168 タイトル 728 冊
(ア) ボランティアによる点訳書	140 タイトル 655 冊	138 タイトル 617 冊
(イ) 点字出版図書	30 タイトル 91 冊	30 タイトル 111 冊
② ボランティアの養成・指導		
(ア) ボランティアによる点訳受入実績	157 タイトル 753 冊	146 タイトル 666 冊
(イ) ボランティア数（年度内点訳・校正実績有）	56 名	51 名
(ウ) 現役点訳者を対象とした点訳技術指導		
延べ実施数	1 回	1 回
延べ人数	59 名	50 名
③ リクエストによる点字図書製作・ボランティア実績（東京都委託分）		
(ア) 点訳希望者	88 名	
(イ) 点訳者	15 名	
	154 件	67,162 ページ
	15 グループ	
(2) 点字図書・点字教科書等の製作・頒布		
① プリント図書の頒布	17 件 41 冊 3,258 ページ	20 件 51 冊 2,934 ページ
② 点字プリントアウト・サービス	293 件 19,528 ページ	240 件 24,821 ページ
③ 点字出版図書の頒布	303 タイトル 903 冊	363 タイトル 1,094 冊
④ 点字図書給付事業取扱件数	110 件 170 冊	109 件 173 冊
⑤ 視覚特別支援学校理療科用教科書の頒布		
『医療と社会』点字版	2 件 8 冊	13 件 52 冊
『医療と社会』点字版（点字データ版付き）		

	2 件	5 件
	8 冊	20 冊
『医療と社会』点字版（デイジー版付き）	1 件	3 件
	4 冊	12 冊
⑥ 視覚特別支援学校高等部用教科書の頒布		
『be English Logic and Expression I Clear』	27 件	32 件
	162 冊	192 冊
『be English Logic and Expression II Clear』	10 件	5 件
	50 冊	25 冊
『科学と人間生活』	26 件	20 件
	234 冊	180 冊
⑦ 文部科学省著作教科書の製作		
特別支援学校中学部視覚障害者用『社会（公民的分野）』（3年生用）	31 件	34 件
	372 冊	408 冊
⑧ 普通校に通う生徒のための点字教科書の製作		
	11 教科 54 冊	20 教科 146 冊
⑨ 自費出版図書の発行など		
『中途視覚障害者のための点字入門』90冊を販売した。		
『点訳のしおり 新版』13冊を販売した。		
『ふれる世界の名画集』10冊を販売した。		
『いろんなかたちをさわってみよう』9冊を販売した。		

(3) 各種点字印刷物、触図等の製作・監修

- ① 団体・企業等からの依頼による点字印刷物の製作
ラジオ番組表、試験問題、会議資料等 各種の製作
- ② 団体・企業等からの依頼による触知案内図・点字サインの製作・監修
公園等案内板 各種の製作・監修
駅施設案内板 各種の製作・監修

2. 録音図書・録音雑誌・電子書籍の製作

(1) 録音図書の製作、ボランティア実績

	2024 年度	2023 年度
① 発表録音図書数	326 タイトル	355 タイトル

	2561 時間	2,959 時間
(ア) スタジオ録音による製作図書 (朗読・デイジー編集)		
	94 タイトル	109 タイトル
	743 時間	945 時間
(イ) 録音図書ネットワーク製作システムによる製作図書 (朗読・デイジー編集)		
	175 タイトル	189 タイトル
	1,396 時間	1,618 時間
(ウ) シネマ・デイジーの製作 (デイジー編集)		
	9 タイトル	9 タイトル
(エ) テレビ・デイジーの製作 (デイジー編集)		
	48 タイトル	48 タイトル
② 録音図書のボランティア実績		
(ア) 朗読ボランティア		
	46 名	40 名
(イ) デイジー編集ボランティア数 (重複あり)		
	11 名	10 名
(ウ) 録音図書ネットワーク製作システム参加ボランティア数 (重複あり)		
	78 名	80 名
(エ) 現役朗読者を対象とした朗読技術指導		
	延べ実施数	1 回
	延べ人数	39 名
		1 回
		40 名
③ リクエストによる録音図書製作・ボランティア実績 (東京都委託分)		
(ア) 録音希望者	42 名	108 件
		1,000 時間 02 分
(イ) 朗読者	38 名	
(ウ) デイジー編集者	33 名	
(2) 録音雑誌の製作		
録音雑誌 月刊「にってんデイジーマガジン」の製作とサピエ図書館への登録		
(3) 池田輝子記念文庫製作事業		
スタジオ録音及びデイジー編集により、	91 タイトル	の録音図書を製作した。
(4) 電子書籍の製作数		
① テキストデイジー完成図書	204 タイトル	200 タイトル
② マルチメディアデイジー完成図書	6 タイトル	6 タイトル
	21 時間	18 時間
③ 電子書籍のボランティア実績		
(ア) クラウドソーシング型図書校正システムを使った校正実績		
	557 名	557 名

全 345 タイトルのうち、		
日本点字図書館	282 タイトル	303 タイトル
京都ライトハウス	63 タイトル	60 タイトル
(イ) テキストデイジー編集ボランティア	30 名	36 名
④ リクエストによるテキストデイジー製作	56 件 22 名	56 件 21 名
⑤ リクエストによるテキストデータ製作	25 件 10 名	44 件 10 名

[委託・補助・助成事業]

1. 厚生労働省委託事業

視覚障害者用図書等事業

	2024 年度	2023 年度
① 点字図書製作	30 タイトル 6,825 冊	30 タイトル 7,044 冊
② 点字図書貸出	280 タイトル 885 冊	232 タイトル 761 冊
③ 録音図書製作		
音声デイジー図書	15 タイトル	15 タイトル
マルチメディアデイジー図書	6 タイトル	6 タイトル
④ 録音図書貸出		
音声デイジー図書	584 タイトル	524 タイトル
マルチメディアデイジー図書	71 タイトル	69 タイトル

2. 厚生労働省補助事業

視覚障害者等情報総合ネットワーク管理事業（サピエ図書館）

	2024 年度	2023 年度
① 会員数		
個人	21,572 名	20,716 名
施設	490 ヶ所	459 ヶ所
② 目録タイトル	1,260,524 タイトル	1,241,717 タイトル
③ 点字データタイトル数	274,018 タイトル 965,660 件	263,645 タイトル 932,337 件
④ 年間点字データアップ数	10,577 タイトル	10,818 タイトル

⑤ 年間点字データダウン数		
個人	402,459 タイトル	417,781 タイトル
施設	28,854 タイトル	27,762 タイトル
⑥ 音声デイジーデータタイトル数	129,305 タイトル	123,164 タイトル
⑦ 年間音声デイジーデータアップ数	8,393 タイトル	8,242 タイトル
⑧ 年間音声デイジーデータダウン数		
個人	3,453,370 タイトル	3,671,450 タイトル
施設	282,040 タイトル	280,419 タイトル
⑨ テキストデイジーデータタイトル数	17,379 タイトル	15,658 タイトル
⑩ 年間テキストデイジーデータアップ数	1,866 タイトル	1,665 タイトル
⑪ 年間テキストデイジーデータダウン数		
個人	234,350 タイトル	246,782 タイトル
施設	5,208 タイトル	5,740 タイトル
⑫ マルチメディアデイジーデータタイトル数		
	539 タイトル	491 タイトル
⑬ 年間マルチメディアデイジーデータアップ数		
	57 タイトル	72 タイトル
⑭ 年間マルチメディアデイジーデータダウン数		
個人	4,938 タイトル	5,753 タイトル
施設	537 タイトル	659 タイトル
⑮ 年間音声デイジーデータストーリーミングタイトル数		
個人	557,935 タイトル	586,370 タイトル
施設	8,887 タイトル	10,997 タイトル
⑯ 年間目録検索件数	2,593,912 件	4,293,223 件
⑰ 年間オンラインリクエスト受信数	210,799 件	223,410 件
⑱ 全国の点字図書館・公共図書館等に対する情報提供		
	50,474 件	52,534 件
内訳（複数提供あり）		
電話	32,090 件	36,352 件
点字・録音・墨字	13,885 件	14,994 件
メール	4,055 件	5,424 件
口答	444 件	551 件

3. 東京都委託事業

(1) 東京都視覚障害者用図書製作貸出事業

① 点字図書の製作・貸出

(ア) 製作 プリンタ図書 46 タイトル (164 巻×2 部複製)

(イ) 貸出 174 タイトル 666 冊

② 声の図書の製作・貸出

(ア) 製作 76 タイトル (76 枚×5 部複製)

(イ) 貸出 2,540 タイトル 2,550 枚

③ 希望図書の製作

(ア) 点訳希望者 88 名 154 件 67,162 ページ
(点訳者 15 名 15 グループ)

(イ) 朗読希望者 42 名 108 件 1,000 時間 02 分
(朗読者 38 名 編集者 33 名)

(2) 東京都視覚障害者用図書レファレンスサービス事業

視覚障害者、施設・団体に対する情報提供数 24,743 件

内訳 (複数提供あり)

電話 20,178 件

点字・録音・墨字 1,898 件

メール 2,281 件

口答 386 件

4. 東京都補助事業

東京都からの補助金を得て、都内貸出事業を実施した。

5. 省庁・自治体からの委託・補助による事業

(1) 東京都消費生活総合センター

CD 版「東京くらしねっと」の作成及び配布 6 回 3,469 部

(2) 各市区町村委託事業

① 「広報新宿」 点字版製作及び配布 38 回 1,248 部

② 「しんじゅくの教育」 点字版製作及び配布 4 回 104 部

③ 「新宿区議会だより」 点字版製作及び配布 4 回 144 部

④ 「広報高崎」 点字版製作 12 回 540 部

⑤ 「高崎市議会だより」 点字版製作 4 回 180 部

6. 公的機関・団体・企業等からの委託及び助成・補助による事業

- (1) 社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団
第7回全国視覚障害者囲碁大会の開催助成
- (2) 社会福祉法人NHK厚生文化事業団
 - ①「ラジオ文芸館」「新日曜名作座」「FMシアター」等、全9種類(音声デイジー版)の受入貸出
 - ②「NHK障害福祉賞入選作品集」音声デイジー版を100枚製作
 - ③ 第7回全国視覚障害者囲碁大会の開催助成
- (3) 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会(株式会社日本財託助成金)
備品整備・施設整備への助成
- (4) 社会福祉法人中央共同募金会
大阪府民共済生活協同組合
点字図書1タイトル、録音図書2タイトルを製作・貸出
埼玉県民共済生活協同組合
点字図書4タイトル、録音図書3タイトルを製作・貸出
全国生活協同組合連合会
点字図書3タイトル、録音図書4タイトルを製作・貸出
教職員共済生活協同組合
点字図書2タイトル、録音図書1タイトルを製作・貸出
- (5) 社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団
チャリティコンサート開催費助成
- (6) 東京新聞社会事業団(社会福祉法人中日新聞社会事業団東京支部)
録音雑誌提供のためのCD複製機の購入
- (7) 社会福祉法人日本盲人福祉委員会
令和6年度衆議院選挙公報の点字版を3,050部製作、音声版を1,450部複製
- (8) 社会福祉法人読売光と愛の事業団
 - ① ロービジョン機器等相談事業の実施
 - (ア) 職員研修の実施
開催日 2025年2月19日(水)
テーマ「ロービジョンケアー見え方による困りごとと支援方法」
講師 小林章(日本点字図書館生活支援部自立支援課職員)
参加者 45名
 - (イ) ロービジョン向けグッズの充実、新型の携帯型読書器等171件802点を貸出
 - (ウ) 本間一夫文化賞クリスタル盾製作
 - ② 専門対面リーディングサービス事業の実施 利用者数236名

③ 視覚障害者用就労支援機器の購入

(9) 公益財団法人 JKA

「障がいのある人が幸せに暮らせる社会を創る活動」として、録音雑誌「医学研究」及び「ホームライフ」を月 1 回年 12 回製作・発行。「にってんデイジーマガジン」に収録し、利用者・点字図書館・視覚特別支援学校・ハンセン病療養施設等へ 61,885 枚配布。

(10) 公益財団法人鉄道弘済会

録音雑誌「ブックウェーブ」を月 1 回年 12 回製作・配布(「にってんデイジーマガジン」に収録して配布)

(11) 公益財団法人東京都人権啓発センター

機関誌「TOKYO 人権」マルチメディアデイジー版を年 3 回製作、CD24 枚複製、サピエ図書館で配信

(12) 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

「障害者白書 令和 6 年版」朗読マスター作成

(13) 公益財団法人日本尊厳死協会

点字版「リビング・ウイル」を年 4 回、87 冊製作

(14) 公益財団法人日本テレビ小鳩文化事業団

点字カレンダー 37,386 部の製作

(15) 公益財団法人早川清文学振興財団

「ハヤカワライブラリー」10 タイトルを製作し、143 ヶ所へ配布(計 1,550 枚)

(16) 公益財団法人一ツ橋総合財団

- ① 録音図書「一ツ橋文庫」10 タイトルを製作・貸出
- ② テキストデイジーの製作・提供
- ③ 録音図書ネットワーク製作システム「びぶりお工房」の維持運用
- ④ シネマ・デイジー「NHK スペシャル 映像の世紀」の製作・提供

(17) 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団

第 7 回全国視覚障害者囲碁大会の開催助成

(18) 公益信託久保記念点字図書援助基金

点字図書製作に係るリング製本機の購入

(19) 一般財団法人 NHK 財団

テレビ・デイジー 48 タイトルの編集製作に係る助成

(20) 一般財団法人日本宝くじ協会

点字図書 3 タイトル、録音図書(音声デイジー) 3 タイトル、録音図書(シネマ・デイジー) 3 タイトルを製作・貸出

- (21) 一般社団法人全国腎臓病協議会
機関紙「ぜんじんきょう」CD版を1,326枚複製・配布
- (22) 一般社団法人日本アマチュア無線連盟
「点字JARL NEWS」を年4回、363冊製作
- (23) 株式会社岩波書店
岩波新書等のデイジー版を製作・貸出
- (24) 株式会社広済堂ネクスト
「文京スクエア」CD版 年12回 240部製作・発送
- (25) 株式会社セゾンテクノロジー
中スタジオ収録機器更新の助成
- (26) 株式会社トラバース
新製品情報「SONY 聞くカタログ 第63号」を製作、「にっぺんデイジーマガジン」に収録・配布
- (27) 株式会社ニッポン放送第50回ラジオ・チャリティ・ミュージックソン実行委員会
録音図書の日イジー編集製作に係る経費の助成
- (28) 株式会社文藝春秋
録音雑誌「文藝春秋」を月1回年12回製作・配布（「にっぺんデイジーマガジン」に収録して配布）
- (29) 三菱商事株式会社
折り畳み式拡大読書器を購入し、網膜色素変性症や緑内障、加齢黄斑変性症などの眼疾患でロービジョンになった方へ、購入前にご自宅の環境でお試しいただけるよう貸し出し機に加えた。また展示会に出展する際の見本としても使用した。

7. 川崎市視覚障害者情報文化センター運営委託事業

(1) 図書情報提供サービス

	2024年度	2023年度
① 利用登録者数	519名	533名
(新規登録者数)	36名	39名
(点字使用者数)	119名	122名
② 利用登録団体	309施設	306施設
(新規利用登録団体数)	3団体	2団体
③ 点字図書の蔵書数および貸出・提供		
蔵書数 (タイトル)	3,882タイトル	3,729タイトル
(冊数)	13,506冊	13,103冊

蔵書数の変化	(新収書)	153 タイトル	121 タイトル
		503 冊	370 冊
貸出数		386 タイトル	440 タイトル
		1,187 冊	1,339 冊
	(内 他館借受)	96 タイトル	85 タイトル
		364 冊	304 冊
	(雑誌)	133 タイトル	187 タイトル
	点字図書コンテンツのダウンロード提供		
	メモリーメディア	29 タイトル	21 タイトル
④ 録音図書の蔵書数および貸出・提供			
蔵書数	(タイトル)	7,065 タイトル	6,953 タイトル
	(枚数)	7,099 枚	6,988 枚
蔵書数の変化	(新収書)	327 タイトル	374 タイトル
		327 枚	374 枚
貸出数			
	(ア) カセットテープ	23 タイトル	11 タイトル
		113 巻	65 巻
	(イ) CD図書	6,907 タイトル	7,677 タイトル
	(内 他館借受)	2,892 タイトル	3,417 タイトル
	(ウ) CD雑誌	3,166 タイトル	3,586 タイトル
	デイジー図書コンテンツダウンロード提供		
	メモリーメディア	3,805 タイトル	4,050 タイトル
⑤ レファレンスサービス情報提供件数			
		358 件	317 件
(2) 資料製作			
① 点字図書の製作数			
	(ア) 製作数	40 タイトル	47 タイトル
		159 冊	182 冊
	内訳		
	委託製作数	17 タイトル	16 タイトル
		72 冊	65 冊
	委託外製作数	23 タイトル	31 タイトル
		87 冊	117 冊

(イ) 寄贈	34 タイトル	29 タイトル
	109 冊	88 冊
(ウ) プライベートサービス	18 タイトル	5 タイトル
② 録音図書の製作数		
(ア) 製作数	54 タイトル	77 タイトル
内訳		
委託製作数	34 タイトル	64 タイトル
委託外製作数	19 タイトル	13 タイトル
録音雑誌	1 タイトル	1 タイトル
	12 冊	12 冊
(イ) デイジー編集	54 タイトル	77 タイトル
(ウ) 寄贈	77 タイトル	96 タイトル
(エ) プライベートサービス	17 タイトル	24 タイトル
内訳		
録音	10 タイトル	11 タイトル
テキストデイジー (合成音声デイジー含)		
	2 タイトル	8 タイトル
プレーンテキスト	0 タイトル	3 タイトル
PDF	0 タイトル	2 タイトル
テープのデイジー化	1 タイトル	0 タイトル
テープのダビング	4 タイトル	0 タイトル
③ テキストデイジー図書の製作数	2 タイトル	4 タイトル
④ シネマ・デイジー/音声ガイドの製作数		
製作数	7 タイトル	16 タイトル
内訳		
センター内製作数	3 タイトル	2 タイトル
委託製作数	4 タイトル	14 タイトル
(3) 点訳ボランティア、朗読ボランティアの養成		
① 点訳ボランティア養成講座		
開催回数	17 回	—
実受講者数	5 名	—
② 点訳ボランティアスキルアップ研修会 (エーデル講座)		
開催回数	3 回	3 回

	延べ受講者数	15名		15名
③	朗読ボランティア養成講座			
	指導回数	—		17回
	実受講者数	—		8名
④	朗読ボランティアスキルアップ研修会			
	指導回数	3回		—
	延べ受講者数	17名		—
(4) 訓練・相談事業の取り組み				
①	訓練	訓練者数	24名	227回
		(新規訓練者実数)	6名	26名
				238回
	内訳(複数提供あり)			
		歩行訓練	9名	105回
		パソコン訓練	1名	16回
		ICT 訓練	4名	34回
		点字訓練	3名	61回
		生活訓練(日常・調理)	1名	3回
		その他	6名	8回
②	相談		414名	726回
				328名
				715回
③	用具の展示と販売紹介	展示点数	420点	399点
		販売紹介点数	1,564点	1,490点
(5) 啓発普及				
①	事業報告会の開催			
	8月	センター事業説明会		参加者9名
②	医療と福祉の連携研修の開催			
	1月25日			オンライン参加23名
③	授業・講座への講師派遣			
	(ア) 当事者職員による「視覚障害者の生活について」小学校授業			
	6月20日	高津小学校		参加者4年生約200名
	11月26日	川崎区内の宮前小学校		参加者4年生約130名
	(イ) 同行援護従業者研修講師			
	総合研修センターにおいて実施された同行援護従業者(一般過程)研修			
	「同行援護の基礎知識」講師派遣			
	4月18日・6月13日・10月11日・11月29日			延べ参加者48名

- (ウ) 川崎市中区社会福祉協議会主催夏休みボランティア体験「チャレボラ 2024」への講師派遣
7月31日 参加者 小学4年生から中学2年生6名
- (エ) 総合新川橋病院 第2回 新川橋視機能支援セミナー「視る見るサポート」
10月26日 参加者 患者さんやご家族約20名
- (オ) 東京医薬看護専門学校（江戸川区）授業講師
12月10日『ロービジョン医学』講義 参加者2年生25名
- (カ) 川崎市文化財団主催「施設のバリアフリー情報&ルートマップを作成しよう」講師派遣
2月19日 参加者 8名
- ④ 訓練生交流会の開催
- (ア) 屋外交流会（10月）（箱根大涌谷、小田原）訓練生9名、付き添い7名
- (イ) 「働く人たちの座談会」
9月14日 参加者 午前9名・午後10名
- (ウ) 「ヘルスキーパーとして働く人たちの座談会」
8月17日 参加者 4名
- (6) イベントの開催
- (ア) 音声ガイド付き DVD 映画体験上映会 開催数 12回 延べ参加者 456名
- (イ) ヨガ教室 …………… 開催数 12回 延べ参加者 120名
- (ウ) CD で聴くクラシック音楽講座 開催数 5回 延べ参加者 127名
- (エ) 歴史的音源を聴く会「れきおんクラブ」開催数 5回 延べ参加者 104名
- (オ) 春、冬のコンサート（5月、2月） 開催数 2回 延べ参加者 214名
- (カ) 出張イベント「体と心をほぐすエクササイズと生活を便利にする
視覚障害者用具を体験してみよう」…… 開催数 2回 延べ参加者 34名
- (キ) 出張イベント「小説の中の味を楽しむ会」開催数 2回 延べ参加者 27名
- (ク) 小説の中の形を楽しむ会（6月）…………… 参加者 25名
- (ケ) 東京・神奈川の「触る」有名建物展（6月）…………… 参加者 46名
- (コ) 整理・収納の基本講座（10月）…………… 参加者 46名
- (サ) パリの「触る」有名建物展（11月）…………… 参加者 26名
- (シ) UD 落語 in かわさき「触る落語」（12月）…………… 参加者 24名
- (ス) センターまつり（12月）…………… 参加者 203名
- (セ) ビブリオトーク「あなたの推しの東野圭吾作品を語り合おう」
（12月）…………… 参加者 2名
- (ソ) 触察イベント+小説の中の形を楽しむ会（3月）…………… 参加者 23名

II 《社会福祉事業 2》

障害福祉サービス事業及び相談事業の経営

1. 相談支援事業

(1) 基本相談	2024 年度	2023 年度
	390 件	492 件

相談内容は、視機能の低下に伴う不安や困りごとに関するものが多く、そのかたのニーズにあわせ、自立訓練、同行援護、用具の紹介などを行なった。

(2) 見えない、見えにくい困りごと相談デスク	40 件	34 件
-------------------------	------	------

(内訳) 相談会対応：8 件 相談会以外対応：20 件 電話対応：12 件

見えない、見えにくい困りごと相談デスクでは、不安解消や情報収集を目的としたものが多く、それに続くものとして用具選定や用具利用、就労関係などの相談が寄せられた。当館だけで解決できないケースについては外部の関係機関と連携し、相談者が次のステップに進めるよう支援を行った。

2. 自立訓練（生活訓練）事業

自立訓練（生活訓練）	2024 年度	2023 年度
実人数	95 人	92 人
延べ回数	2,652 回	2,103 回
内訳（複数提供あり）		
歩行訓練	28 人 331 回	29 人 374 回
点字訓練	27 人 546 回	19 人 438 回
ICT 訓練※	80 人 1,505 回	76 人 1,130 回
日常生活訓練	7 人 59 回	12 人 55 回
ロービジョン訓練	4 人 11 回	1 人 10 回
運動・余暇	53 人 200 回	38 人 96 回

※ICT 訓練とは

パソコン、スマートフォン、タブレット等のICT機器を音声出力、音声入力、拡大出力等を利用することにより活用できるようになるための訓練

3. 医療機関との連携

相談会の実施	2024 年度	2023 年度
お茶の水・井上眼科クリニック	3 回	4 回
西葛西・井上眼科病院	2 回	1 回

4. 点字教室の実施

点字教室	2024 年度	2023 年度
開催回数	83 回	80 回
延べ受講者数 (新入生)	203 名 6 名	173 名 2 名

※週に 1 回（火曜日）実施

5. 短期訓練の実施

短期訓練（1 コマ 1 時間の 6 コマ）	2024 年度	2023 年度
	17 名	23 名

Ⅲ ≪公益事業≫

盲人生活用具の開発と普及及び国際視覚障害者情報提供協力事業

1. 視覚障害者用具の販売斡旋

	2024 年度	2023 年度
(1) 取扱商品点数	946 点	905 点
販売斡旋数	79,800 点	73,347 点
(2) 新商品（新規取扱商品）	31 点	21 点

主な新商品：糸通し 2 枚組、見やすい耐熱抗菌まな板 L、携帯型マルチプレーヤーセンスプレーヤーライト、レインポケット零長 ボーダー、らくらく糸通し、マルチレトロラジオ、フチ付きまな板ミニ、チェコ製ガラスつめヤスリ、しゃべリモ、サイレントアンブレラ、ココテープバー・ロール、お薬手帳ケース、イージーポケット、GRUS 音声見守り温湿度計、5 倍拡大鏡付きコンパクトミラー、ハゲタカのえじき、なでなでねこちゃん EX とら

(3) 海外諸国への輸出件数	5 件	8 件
----------------	-----	-----

主な輸出国：台湾、韓国、中国

主な販売商品：32 マス標準点字盤、点字カードプレス機、表面作図器用紙、スライド式サポートケーン、サッカーボール、バレーボール、ブラインドサウンドテーブルテニス、オセロゲーム、触読式腕時計、堀江そろばん、計量ポットさじかげん、ユニバーサルタイマー

(4) 体験会・展示会		
(ア) 各種機器体験会の実施	32 回	30 回

(イ) 展示会への出展	11ヶ所	6ヶ所
(ウ) 用具商品の貸出展示 (貸出先：点字図書館など)	10回	9回
(エ) ゲーム会の開催	3回	0回
(オ) 補装具・日常生活用具制度の説明、各種相談会開催	1回	1回
 (5) インターネットショッピングサイト「わくわく用具ショップ」の運営		
① 会員数	7,598名	7,159名
② 新規会員数	439名	484名
③ 受注件数	4,755件	4,496件
④ 受注商品点数	25,572点	26,583点

(6) 広報の充実

- ① 新商品情報誌「ニュー用具タイムズ」を年4回製作。(5月、7月、11月、3月)
「にってんデイジーマガジン」、「サピエ図書館」にコンテンツを提供した。
- ② 「ホームライフ」の「わくわく用具タイム」のコーナーで、新商品を4回紹介した。
- ③ インターネットショッピングサイト「わくわく用具ショップ」会員に対して、メールマガジンを配信し、新商品のお知らせやイベントを紹介した。
- ④ 日本点字図書館公式 X (旧ツイッター) において、新商品の紹介などに関する投稿を7回行った。

(7) 企業 CSR との連携

東京海上日動安心 110 番株式会社、東京海上日動調査サービス株式会社、日本郵船株式会社、旭海運株式会社、三菱商事株式会社、三菱食品株式会社、三菱鉱石輸送株式会社のボランティア活動において、用具事業課で使用する点字シールや封筒を製作していただいた。

2. 厚生労働省委託事業

	2024 年度	2023 年度
盲人用具販売あつ旋事業	15 種 14,540 点	15 種 15,773 点

3. 池田輝子 ICT 奨学金事業

第 20 回池田輝子 ICT 奨学金事業を実施した。

実施期間：2024 年 6 月 24 日～7 月 6 日 ICT 訓練 中級コース

実施場所：ペナン(マレーシア)

参加者：6 名

4. アジア盲人図書館協力事業

一般社団法人霞会館の助成により、ネパール連邦民主共和国にてネパールの視覚障害者の全国組織であるネパール盲人協会の協力を得て、ガンダキ州において、点字教材の制作方法の講習と点字プリンタ 1 台の提供と操作指導を行った。

IV《収益事業》

マンションの設置経営

2 棟の賃貸マンション（総戸数 34 戸）を運営し、生じた収益は、社会福祉事業及び公益事業に充当した。

V《本部事業》

1. 寄付・助成金の増収

(1) 毎年継続の寄付の依頼状発送に加え、新規寄付者獲得に努力した。

	2024 年度	2023 年度
新規寄付者	129 名	204 名
総件数	6,819 件	7,146 件

(2) ワンブック・プレゼント運動

点字図書	13 件 37 口	10 件 34 口
録音図書	21 件 80 口	21 件 83 口

2. 日本点字図書館カード会員の拡大

ホームページ上の特設ページで広報し、加入者の拡大を図った。

3. チャリティコンサートの実施

第 22 回本間一夫記念日本点字図書館チャリティコンサート

「澤 和樹 & 梯 剛之 デュオコンサート」

2024 年 11 月 24 日（日） 東京文化会館 小ホール

来場者 461 名

4. 第 21 回本間一夫文化賞の贈呈

声楽家・エッセイスト 塩谷靖子氏（プログラミング、盲ろう者支援、声楽、文筆の

幅広い活躍により視覚障害者の社会的・文化的活動に貢献)

5. 第31回にってん野路菊賞の贈呈

晃華学園 麦の会（録音図書にかかる各種作業への貢献）

6. 広報誌その他の活動

- ① 広報誌「にってんフォーラム」（年4回、各5,540部）を発行した。
- ② 「感謝録」（8,000部）を発行し、寄付者を中心に関係団体等に配布した。
- ③ 「事業案内」（2,315部）を発行し、寄付依頼に同封するとともに、関係者（団体）等に配布した。
- ④ ホームページから定期的に情報を発信した。訪問者数の合計634,082件、ページ閲覧数の合計1,249,324件
- ⑤ X（旧ツイッター）による情報発信を延べ129件おこない、フォロワー4,414名を獲得した（前年比110名増）
- ⑥ 当館からのお知らせや企業・団体等から寄せられた催しをメールで案内する「にってんニュースレター」を合計11回、延べ6,549名に配信した。
- ⑦ 見学の受け入れ 158件 527名

7. イベントの実施、他団体への協力

(1) 主催

視覚障害や当館事業にかかる1回1テーマの体験型講座「にってんワークショップ」を開催（全7回、参加者数108名）

第1回 子ども向け特別企画「夏休み・キッズチャレンジ！」

開催日：2024年8月3日（土）

参加者：47名

第2回 テーマ「触る」

開催日：2024年9月21日（土）

参加者：11名

第3回 テーマ「聞く」

開催日：2024年10月19日（土）

参加者：6名

第4回 テーマ「触る」

開催日：2024年12月21日（土）

参加者：13名

第5回 テーマ「聞く」

開催日：2025年1月18日（土）

参加者：13名

第6回 テーマ「いっしょに楽しむ喫茶^{カフェ}ってん」

開催日：2025年2月15日（土）

参加者：6名

(2) 共催・協力

第12回 Tokyo Eye Festival・第2回東京ロービジョンサポートフェア

今年度より同時開催。ロービジョンコーナーにて当館の事業を紹介したポスターの展示、ロービジョングッズの展示、図書館案内・自立支援室の案内・用具カタログを配布、「レクチャーコーナー」にてサピエ図書館の紹介、「歩行、盲導犬体験コーナー」にて白杖歩行体験を行った。

開催日：2024年10月12日（土）～10月13日（日）

会場：新宿駅西口広場イベントコーナー「ガラスの扉のイベント広場」

来場者数：2,030名

8. 奥村文庫(視覚障害関係墨字資料室)の充実

視覚障害に関わる情報収集を行ない、問い合わせに対して適切な資料と情報の提供に努めた。

	2024年度	2023年度
視覚障害関係墨字資料の収集		
図書	244点	279点
雑誌	100点	134点
新聞記事	256点	325点
利用件数		
来室者	682人	965人
レファレンス	785件	847件
複写サービス	51枚	99枚

9. 「ふれる博物館」の運営

共催：手と目でみる教材ライブラリー

水・金・土曜日に開館

年間合計 開館日数 102日 来場者 730人（昨年度 75日・417人）

① 第14回企画展「バードタッチング」

協力：国立科学博物館

NPO行徳自然ほごくらぶ

内山 春雄（野鳥彫刻家）

島 絵里子（北海道大学大学院文学院博物館学研究室）

会期：2024年5月22日(水)～9月28日(土)（53日間）

来場者数：361人(うち視覚障害者143人※)

② 第15回企画展「イタリアン触堂」

協力：渡辺哲也（新潟大学）

会期：2024年11月20日(水)～2025年3月22日(土)（49日間）

来場者数：369人(うち視覚障害者135人※)

③ 特別企画 『骨から探る鳥のふしぎ』講演会とワークショップ

開催：2024年8月24日(土)

講師：川上和人（鳥類学者・国立森林研究所）

企画・ファシリテータ：島絵里子（北海道大学大学院）

参加者：講演会48人（うち視覚障害者26人）

ワークショップ13人（うち視覚障害者10人）

④ 特別上映会 『手でふれてみる世界』

開催：2025年2月22日(土)

トークショー：岡野晃子監督、大内進（独立行政法人国立特別支援教育総合研究所名誉所員）

参加者：66人（うち視覚障害者21人※）

注：※は概数

10. 本間一夫記念室の維持管理

① 創立者本間一夫及び当館の歴史関係資料を収集管理し、来館者に公開した。

年間来室者数 439人（昨年度 594人）

② 著作権許諾はがき公開に向けて、現在の著作権継承者へ許諾依頼の手紙を260通発送した。返信はがき228通、電話4件、メール9件、FAX1件の回答があった。

③ 疎開時代の未製本点訳書のデータ化を行った。

8タイトル 1,233ページ

④ 点写簿のデータ化をした。

点写簿3冊 点写簿ノート5冊 合計4,966冊

⑤ 増毛から帰館した点字本のデータ入力をした。

点字出版書 167冊 点訳書 113冊

VI《会議・研修・福利厚生》

1. 会議

(1) 役員会の開催	
① 理事会	4回
② 評議員会	4回
(2) 部課長会議・グループリーダー会議の開催	
① 部課長会議	12回
② グループリーダー会議	12回
(3) 各委員会の開催	
① にってんフォーラム編集委員会	8回
② ホームページ制作委員会	2回
③ 選書委員会	10回
④ 防災・衛生委員会	0回
⑤ 本間記念室・ふれる博物館委員会	2回
⑥ 事業等検討委員会	12回
⑦ 広報委員会	12回（書面）
⑧ 点字製作体制検討ワーキンググループ会議	9回
⑨ サピエ・CLIS システム管理班会議	8回

2. 表彰・研修

(1) 表彰関係	
① 奉仕者（外部表彰）	
（ア）東京都知事感謝	1団体
（イ）東京都社会福祉協議会会長表彰	2名・1団体
東京都社会福祉協議会会長感謝	1名
（ウ）日本盲人社会福祉施設協議会表彰	0名
（エ）鉄道弘済会表彰	2名
② 勇退奉仕者（内部表彰）	
感謝状と記念品の贈呈	16名
③ 職員	
（ア）理事長表彰	
永年勤続表彰 職員	7名
パートタイマー	2名
感謝状	1名
奨励賞	7名

(イ) 外部表彰

日本盲人社会福祉施設協議会（永年勤続）	4名
東京都社会福祉協議会（永年勤続）	
職員	7名
パートタイマー職員	6名

(2) 職員研修

①内部研修

(ア) 管理者研修

5月2日（木）

講師：日本能率協会総合研究所 凌竜也氏 出席者 11名

(イ) ハラスメント研修（eラーニングシステムによる実施）

9月10日（火）～10月9日（水）、対象者 78名

② 外部主催研修 24件、延べ 71名

3. 福利厚生

(1) 職員健康診断を 124名（高田馬場 110名、川崎 14名）に実施した。

(2) ストレスチェックを 100名（高田馬場 87名、川崎 13名）に実施した。

(3) 避難訓練を実施

4. その他（講師派遣）

以下の研修会等に講師派遣を行った。

- ・筑波技術大学保健科学部 「視覚障害者の読書環境」について講話
- ・神奈川県内で障害者サービスを担当する公共図書館職員に向けてサピエ図書館の検索とプレクストークの使い方について講話
- ・柏市朗読奉仕サークル研修会において音訳及び校正についての講話
- ・国立台湾図書館創立110周年記念国際シンポジウム「バリアフリー・サステナブルの実現を目指して」にて基調講演「視覚障害者の知の自由のためにー日本点字図書館の取り組み」

ほか